4．次の文章をよく読み、以下の設問に解答しなさい。（6 点＋4 点＝10 点）

G 氏
65 歳男性、身長 172cm、体重 60kg
診断名：右上葉肺がん（ステージ 1A 期＝初期で原発巣のみ）
予定術式：右上葉切除術
予定麻酔：硬膜外麻酔、全身麻酔
現病歴：2 か月前の会社の健康診断で右上葉の肺がん（初期）が見つかり、精査の結果、上記診断を受ける。
上記職業：55 歳までは警察官、退職後よりビルの警備（24 時間勤務）をしている。
既往歴：32 歳；柔道の稽古中に右肩脱臼し観血的整復術
45 歳；椎間板ヘルニアにて手術
58 歳；右下腿静脈瘤にて手術
喫煙：タバコ 1 日 40 本×40 年間
入院時看護記録への記載内容：
妻に付き添われて独歩で入院。現在の気持ちを尋ねると「手術は初めてではないし、特に不安はないが、普段からシフト勤務をしていて、夜眠れそうにないです。」と話される。平常時より腰痛があり、長時間の仰臥位保持は辛いとのこと。2 週間前に外来の看護師にスーフル（呼吸訓練機）を渡されたが、一度もやっていないと話す。

1）G さんの手術は 4 時間の予定で、術中は左側臥位で右上肢を頭側に固定して手術が行われる予定です。術中に起こりやすい局所の合併症を 1 つ取り上げ、取り上げた理由と、それに対する手術室での具体的な看護ケアについて述べなさい。

2）G さんが術後に起こす可能性が高い合併症のうち、術前から看護アプローチが可能なものを 1 つ取り上げ、この時点で実施できる具体的なケアの内容について述べなさい。
（スーフル、呼吸訓練）

5．手術侵襲に対する生体反応について述べた以下の文章を読み、（　　）の中に当てはまる適切な語句を解答用紙に記載しなさい。（1 点×5＝5 点）

手術操作により血管壁の破壊や血管の透過性が亢進すると、水分やナトリウム（　　①　サードスペース　）へ移行する。加えて、出血や不感蒸泄などにより体液を喪失し、（　　②　急性腎不全　）が生じる。副腎髄質では、交感神経系の興奮により（　　③　カテコールアミン　ストレスホルモン　）が分泌され、末梢血管の収縮を促進し、心収縮力や心拍数を増加させ、重要臓器への血流の維持に作用する。また、副腎皮質から分泌される（　　④　アルドステロン　）や下垂体後葉からが分泌される（　　⑤　抗利尿ホルモン　）の作用により、腎臓における水分やナトリウムの再吸収が促進される。これらの働きにより、（　　②　　）が緩和される。

次頁あり